



京都に行ってきました♪

11月5日、6日で京都に行ってきました。目的の一つは野村美術館で開かれていた平戸悦山さんの傘寿展。



14代悦山さん、娘さんと

平戸悦山さんは長崎県佐世保市の三川内焼の窯元で、長年お世話になってはいるものの、作品をゆっくりと拝見したことがありませんでした。この度、ご案内をいただいたので、早速伺ってきました。



私の自宅にある悦山さんの香炉

三川内焼は平戸松浦藩の御用窯であった平戸焼と同じです。豊臣秀吉の朝鮮出兵の際に、陶工たちを連れ帰ったのが始まりで、熊本県の日置陶石をいち早く使い始めた産地の一つです。

当代の14代悦山さんは長崎県指定無形文化財「三川内焼 細工技術」保持者です。今回お邪魔してその技術を目の当たりにしました! 虫かごのかごも



然る事ながら、キリギリスの長い触角!! 「気が遠くなる」の言葉では足りない手間と時間を掛けた技巧。ため息しか出ません。

三川内焼だけでなく日本各地のすばらしい伝統技術は、是非とも未来へと継承していただきたいものです。

毎回出張はドタバタです。なかなか余裕をもって事前にスケジュールを組むことが出来ません。今回も切符を買ったのは11月3日(^_^;

そんな中、陶工房 天風 天野さまに訪問を快く承していただきましたので、お邪魔してきました。

京都の焼き物の歴史を教えていただき、目から鱗、自分の間違った京焼のイメージを正すことが出来ました。楽しいお話ばかりで、またまた長居してしまいました。本当にありがとうございます。

京都へは、機会を作ってまた伺いたいです。**淵野直幸**



於野村美術館 2022年11月7日迄、11月6日(日)迄
平戸悦山さんごもの「今村物 白磁展」



陶工房 天風 天野さま



Merry Christmas

2度の台風で稲が倒れました



2条刈りの小さなコンバインです



私たちの工場がある橋山地区は農閑期にしか水車を回せず、農繁期は水田優先の水路になっている地域でした。ですので、この地区の陶土業者さんはみな兼業農家でした。私のところも同様で、今でも少しだけ米を作っています。今年台風のために稲が倒れてしまいました。9月5日、6日の11号、9月18日、19日の14号、2つの台風の接近でベツタリ倒れましたが、なんとか刈ることが出来てよかったです。

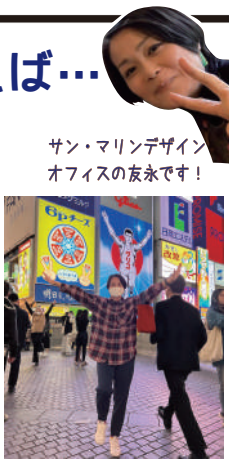
田んぼも作っています!



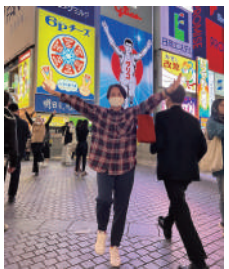
MARIの 大阪といえば...

ココロは
まなまり

仕事で久しぶりに大阪に行ってきた☆一緒に仕事をしているカメラマンさんと二人で福岡から。せっかく来たので、「こりあ、ちゃんと堪能せんとあかんわ!」と満喫してしまいました、笑。



サン・マリンデザインオフィスの友永です!



わかりますか? 足が逆、笑。

まずは、中之島美術館へ。この建物、美しかったですね〜。外観が真っ黒なんです。10月まで開催されていた「展覧会 岡本太郎」が観れたら最高だったのですが、タイミング合わず残念! いつか福岡で開催されないかと心待ちにしています。

そして、大阪といえば…、お好み焼き。日本一のお好み焼き激戦区と言われる難波で夜ご飯に頂きました。すごい美味しかったです。カメラマンさんと子育てのことやこれからの仕事のことを語りながら、楽しい時間はアツという間。

そして、大阪といえば…、グリコサイン。お決まりのようにしゃいできました。このグリコの看板がLED画面になっていたのには時代を感じました。

そして、大阪といえば…、551の豚まん。帰りの新幹線で食べようと、長蛇の列に並んでGet。もちろんビールも♪ 指定席に座り、いざ食べようと思うと、満席に近いなか、横には若いお兄さんがいるし、「これは箱を開けたら匂いがすごいから、なんだか恥ずかしいなあ〜」と食べるのを諦めたんです。すると、何やらぶう〜んと豚まんのいい匂いが…。まさか?! 左側に目をやると、通路を挟んで座っているカメラマンさんが、思いっきりかぶりついていました、笑。「食べるんかーい」って思わず突っ込んでしまいましたね。

やっぱり「移動」するととてもリフレッシュできます。「移動距離が長いと運気が上がるよ!」とよく言われますが、来年はもっと遠くへ行きたいな♪ *友永 真麗



突然現れるんです! ミニの黒い建物か!



夕食を食べた「法善寺横丁」や「然二さん」



本場のお好み焼きはやっぱり最高でした



準備は完璧だったんです! ですけどね...

第31話 会長さんの昔話



昭和48年、10軒の粘土屋さんの共同出資により、塩田陶土協業組合が誕生しました。当時のこちらの地元の陶土業界では大きな工場でした。同業者の組合である肥前陶土工業協同組合の1/5を占める生産量で、組合へは常に理事を2名出すことになった新しい陶土工場を快く思わない人

たちがいました。彼らは塩田陶土さんの生産を妨害していきま。具体的には、原料である天草陶石が塩田陶土さんに入らないようにしていくのです。原料が無いことにはわれわれは粘土が作れません。いつごろから始まり、どの程度阻害したのか詳細は把握していませんが、とても困らされていたのは覚えてます。生産を続けるため、塩田陶土さんは足りない天草陶石を供給してくれる鉱山を探します。そこで出会うのが当時共立窯業

原料(株)対州鉱業所の所長だった八重島忠夫さんです。現在の八重島窯業原料(株)の八重島社長のお父さんです。塩田陶土さんの窮状は八重島所長の耳にも届いており、新工場に對する同業者の理不尽な仕打ちにとっても憤っておられたそうです。八重島所長は塩田陶土さんが天草陶石を使えるよう奔走し、当時は食器業界向けには出荷していなかった共立窯業原料(現在の共立マテリアル)さんの天草陶石を塩田陶土さんに出すよう計らいました。

天草陶石が調達できるようになったからといって安心はできません。塩田陶土さんは、さらなる妨害をされないように、なるべく入荷が人目につかないようにしていたそうです。トラックには暗くならないようにして、届いた陶石は、隠していたのと。しなくいい努力をせねばなりませんでしたが、八重島さん、共立さん、運送業者さんなどの協力もあって危機を乗り越え、塩田陶土さんは生産を続けていくことが出来

たのだと思います。しかし、妨害した側の人たちは組合内で変わらず力を持ち続け、その後も同業他社を規制したり(ジキよまんば11号)、私を呼び出して圧力を掛けたり(同20・21号)、自分たちの地位を守ることに固執し、はみ出す者に様々な嫌がらせを続けていきます。それから数十年、世代が変わりようやく同業者の足を引っ張る者はほぼほぼいなくなつたように見えます。(おわり) 淵野義則

ニュースレターの送付停止はホームページから簡単にできますのでご利用ください。



有限会社 淵野陶磁器原料

〒849-1426 佐賀県嬉野市塩田町大字五町田乙 287-1
TEL 0954-66-4207 / FAX 0954-66-3747 / E-mail info@fromform.jp

このニュースレターは、これまでご注文いただいた方、サンプルをお送りしました方、名刺交換をさせていただいた方など、ご縁がありましたみなさまにお送りしております。必要のない方は、たいへんお手数ですがその旨を上記までご連絡ください。

今年もアツという間の1年でした!! 来年もどうぞよろしくお願ひいたします!

淵野 陶磁器

<https://fromform.jp/>